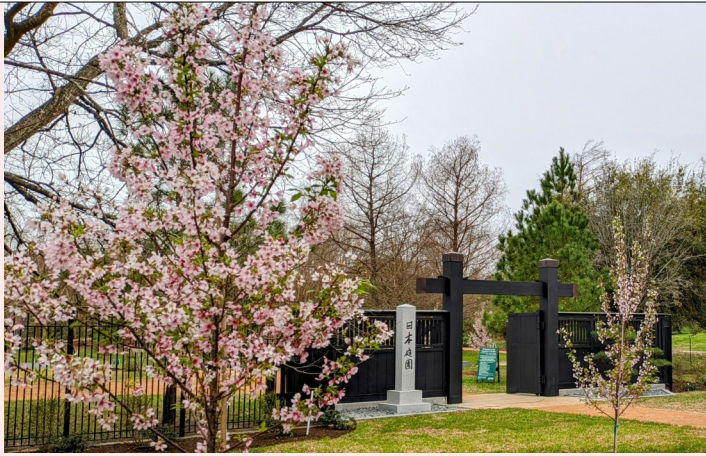


日本庭園便り 2024 日本庭園改修作業 ご報告



▲今回建設された記念石碑とおかめ桜



▲余った木材を活用して設置した
滝裏進入防止柵



▲③庭園横に設置された光悦寺垣



▲サルズベリ剪定前



▲サルズベリ剪定後

ヒューストン市民の憩いの場として老若男女問わず広く親しまれているハーマンパーク内に造られた日本庭園。先月号でご紹介した当庭園の開園30周年を記念した石碑の除幕と時を同じくして、今年も日本から庭師の方々を招致して庭園の各種手入れや改修作業をしていただきました。

今回も2007年以来お世話になっている岩崎造園の岩崎博司氏とそのご子息、太樹氏に2月4日～20日の間ご滞在いただき、園内の剪定やいくつかの小規模な改修を精力的に行っていただきました(表参照)。さらに今回は庭園デザイナーとしてuno造園緑花事務所の宇野裕介氏も初めてのヒューストン訪問を果たされ、一週間ほど滞在いただきました。

今年は定例の剪定作業や前年度からの継続項目(“宿題”- homework)の進捗確認に加えて石碑の設置作業のほかに、茶室横に日本から取り寄せた光悦寺垣を設置し景観の向上を目指すとともに、滝裏進入防止柵の設置(注)などを実施いただきました。また今後の改修作業やメンテナンスのために、庭師の方々の希望で近隣の苗床(Nursery)にも訪問いただきました。

また宇野氏には、庭園内の修復や改築のランドデザイン策定のための実地調査と関係者との議論を進めていただきました。

今回の作業を岩崎様、宇野様に振り返っていただきました。

「毎年我々は多くの宿題(home work)をHPC側に提示して帰国します。コロナの規制がなくなり4年ぶりに渡米した昨年日本庭園に関わる新たなスタッフ達と共に打合せや作業を行い、現状の課題を共有しました。そして今年の渡米時、過去十数年伺っている中で最も多くのhome workがこなされ、訪問時に樹木の剪定も含め庭園が最もきれいに整備されていたと思えました。ここにスタッフも含めた日本庭園に関わる人達の意気込みを感じ、より一層身の引き締まる思いになりました。この日本庭園はまだまだ手を加えることにより、更に魅力のあるものになります。今後とも一層庭園の発展に尽力して参ります。それにつきまして皆様にもご協力をお願い申し上げますとともに、今後の発展を楽しみにして下さい。」(岩崎博司氏)

宇野氏は今回の初訪問と今後の庭園デザインの設計にあたって「秀逸なアメリカンランドスケープパーク内にあるこの日本庭園が、祭りの賑やかさと日常の静けさを体感できる日本人の心の拠り所としての鎮守の森であれば…と(願っております)。そして、先人先達の想いを大切に守り引き継ぎつつ、そのしがらみを墨守するのではなく温故知新の心で、今を生きるそして未来の後人に繋げる視点で、日本の歴史文化が垣間見える場としての鎮守の森、その心身が清められるような空気感と美を体感できる場であって欲しい…と、想いを馳せました。」とその意気込みをつづってくださいました。

またHPCにて情熱をもって日本庭園の維持改善にまい進されているMrs. Iris Clawson-Davis(Senior Director of Greenspace) は「日本庭園のチームと一緒に仕事をするようになって2年目になりますが、ようやくHPC内に技術が蓄積され、この空間の改良に自信を持てるようになってきました。やるべきことは常にあり、庭園が本当に「完成」することはありませんが、私たちが持続できるペースで庭園を改良していくことの大切さを認識

しており、長期的かつ持続可能な整備体制を構築していきます。(自分が)このようなヒューストンを代表する庭園の保全緑地チームを率いることができて光栄です。」と語ってくれました。

Mrs. Caitlin Talkington(Landscape Horticulture Manager)は「今年は実に多くのことを成し遂げ、全体的にとっても忙しく、実り多い訪問となりました！食事や宿泊を惜しみなく提供してくれた地元コミュニティの支援も、チームの訪問を歓迎してくれる貴重なものでした。この庭園は、彼らの助言と指導のおかげで成長を続けています。」

最後に、庭師招聘に当って、昼食の差し入れや夕食の設宴にご協力いただきました商工会メンバー各社に厚く御礼申し上げます。

こうして庭園を支えている職人の方々の思いを知ったうえで訪れるこの日本庭園は、また格別なものに感じられることでしょう。これまで幾度も訪ねられている方も、まだ行かれていない方も、機会があれば是非日本庭園にお越しください。

(日本庭園諮問委員会 杉本 蛭子 佐藤)

ハーマンパーク 日本庭園

今回の主な作業

- ◆ 光悦寺垣の設置と景石の移動
- ◆ 金閣寺垣の設置
- ◆ 滝裏進入防止柵の設置
- ◆ 種苗と土壌改良調査
- ◆ 各種剪定作業
- ◆ 池の修復に向けた協議
- ◆ 庭園内の各種修復のデザイン策定に向けた調査、協議
- ◆ 記念石碑の設置 (ガルフストリーム3月号参照)



▲現地業者との打ち合わせの様子

日本庭園諮問委員会Japanese Garden Advisory Committeeとは:

Hermann Parkの管理運営を担っている非営利団体Hermann Park Conservancy (HPC) 内に設置され日本庭園の運営に関してHPC側に助言を行っています。主な活動としては月例会議を通じて公園の整備状況の確認、Fund Raisingの支援、庭師招聘に向けた調整などを行っています。また隔月で開催されるHermann Park理事会に日本庭園の現況について報告をしています。メンバーはHPC、ヒューストン市(公園レクリエーション部)、日本人会、商工会、日米協会、ヒューストン日系アメリカ人連盟およびヒューストン在住日系人などで構成されています。

委員会での報告を聞くたびにHPCの実務責任者である二人を中心に、「和なるものを追求していきたい」との彼らの熱意にはいつも頭が下がります。

